

# 関節鏡下半月板切除術（半月板損傷）患者さんパスシート（No.1）

氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/		
経過	入院日		
達成目標	1)手術の物品を準備しましょう。 2)手術について理解しましょう。 3)麻酔について理解しましょう。 4)転倒・転落の危険性について理解しましょう。		
薬	1)お薬を内服されている方は、入院時にお薬手帳と一緒に9日分のお薬をお持ちください。 2)医師、薬剤師が確認し継続するかどうか判断します。		
検査	・13時から15時の間に麻酔科の診察があります。		
処置	1)弾性ストッキングのサイズを測ります。 2)手術する足の切毛を行います。		
観察	・手術部位と全身状態を観察します。 症状が出現したり悪化した場合は看護師にお知らせください。		
排泄	・制限はありません。		
活動	・制限はありません。		
食事	1)21時から食べられません。 2)24時から水分を飲めません。		
清潔	・シャワー浴を行い、手術部位を清潔にします。		
説明指導	1)医師より手術の説明があります。 2)咳や熱などの感冒症状がある場合は看護師にお知らせください。 3)看護師より手術前後の処置や必要な物品、腓骨神経麻痺の予防について説明があります。（別紙1参照） 4)看護師より転倒・転落の危険性、予防方法についての説明があります。 5)麻酔科担当医から麻酔科外来で麻酔についての説明があります。 6)手術に使用するバスタオル1枚、T字帯1枚をお預かり致します。 バスタオル、T字帯にはお名前を記入して頂くようお願いいたします。		

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2024年11月改定

# 関節鏡下半月板切除術（半月板損傷）患者さんパスシート（No.2）

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/
経過	手術当日（手術前）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>不安なく手術に臨めるように心構えをしましょう。</li> </ul>
薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の指示で内服がある場合にはお伝えします。</li> </ul> 
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>特にありません。</li> </ul>
処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>手術開始予定が午後の場合は手術室に行く前に点滴を行います。</li> <li>深部静脈血栓症予防のため、弾性ストッキングを履いて手術室に向かいます。</li> </ol> 
観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術部位と全身状態を観察します。症状が出現したり悪化した場合は看護師にお知らせください。</li> </ul>
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術前日か当日に排便がない場合にはグリセリン浣腸を行います。</li> </ul>
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に制限はありません。</li> </ul>
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べたり飲んだりできません。</li> </ul> 
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗面、歯磨きは行うことができます。</li> </ul>
説明指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>手術室に向かう前に、浴衣・ストッキングを履きます。</li> <li>貴重品は金庫に入れるか、ご家族か看護師に預けてください。</li> <li>ご家族の待機場所について説明させていただきます。</li> </ol>

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2024年11月改定

# 関節鏡下半月板切除術（半月板損傷）患者さんパスシート（No.3）

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日 年 月 日

月日	/	
経過	手術当日（手術後）	
達成目標	1) 痛みや苦痛を緩和し、安楽に日常生活を過ごしましょう。 2) 深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょう。	
薬	1) 手術後、薬は基本的に飲みません。 2) 翌日から内服が開始になります。	
検査	・手術終了後、レントゲン撮影を行ってから部屋へ戻ります。	
処置	1) 手術翌日の朝まで点滴を行います。 2) 酸素マスクをつけます。 3) 深部静脈血栓症予防のため、血栓予防のストッキングは手術後も継続して履きます。	
観察	・血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無について1時間ごとに観察させていただきます。	
排泄	・ベッド上での排泄となります。	
活動	1) ベッドで安静に過ごします。60度まで体を起こせます。 2) 体の向きは左右どちらに向いても大丈夫です。	
食事	・食事はできません。 ・酸素マスクが外れたら、水分を飲むことができます。	
清潔	・顔を拭く、口の中をきれいにするお手伝いをします。	
説明指導	<p>1) 手術後、点滴を誤って引っ張ったりしないように注意しましょう。 2) 腓骨神経麻痺予防のため、腓骨頭（膝の外側にある突起）を圧迫しないよう注意しましょう。足首にしびれや違和感、動かしにくさを感じた場合は、すぐに看護師に伝えましょう。 拳上用枕から患肢が落ちた場合は看護師に伝えましょう 2) ベッドにいる時は血栓予防のため、足首の運動をしましょう。 3) 手術後は痛みなどの症状に対し、お薬を使用しますので遠慮なくお伝えください。 4) 膝の腫れを防ぐために膝を冷やします。</p> 	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2024年11月改定

# 関節鏡下半月板切除術（半月板損傷）患者さんパスシート（No.4）

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/	
経過	術後 1 日目	術後 2 日目～4 日目（退院日）
達成目標	1) 痛みのコントロールについて理解しましょう。 2) 問題なく歩行ができるようにしましょう。 3) 退院後の注意点を理解しましょう。	
薬	1) 食事が開始となると、手術前に内服していた薬が再開となります。 2) 痛み止めの内服薬が処方されます。	
検査	・朝、看護師が採血に伺います。	・術後 3 日目に採血があります。
処置	・夕方の抗生剤の点滴が終了したら、点滴の針を抜きます。	
観察	・血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無について観察させていただきます。	・傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足首の背屈運動の有無について観察させていただきます。
排泄	・特に制限はありません。	
活動	・歩行を開始します。初回は看護師が付き添いますのでナースコールで教えてください。	・特に制限はありません。
食事	・朝より手術前と同じ食事が始まります。	
清潔	・身体を拭き、更衣をします。	
説明指導	<p>1) 痛み止めの内服方法を看護師が説明します。                  2) 歩行が開始になったら血栓予防のストッキングを脱ぎます。                  3) 次回外来の受診日の説明をいたします。                  4) 保険などの書類は退院日に本館 1 階 A ブロックの受付窓口に提出してください。(受付窓口は平日、土曜のみ利用可能です)                  &lt;退院後の注意点について&gt;</p> <p>* 処方されたお薬はきちんと内服しましょう。                  * 創部は入浴の際にきれいに洗い、清潔なタオルで拭きましょう。                  * 創部が赤く腫れたり、触ると熱かったり、液が染み出してきて、高熱があるときは、病院を受診してください。</p>	



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2024 年 11 月改定

## 整形外科で手術を受ける患者さんへ

術後に足が動かせない状態で、腓骨頭(足の外側の出っ張った骨の部分)が圧迫されると足がしびれて動かなくなり、麻痺が起こる可能性があります。以下の症状が出現した場合はすぐに看護師にお知らせください。

①今までしびれがなかったのに足がしびれる。

②足首や足の指が自分の力で上下に動かせなくなる。

- ・術後は膝が天井を向いているようにしましょう。
- ・装具や枕、外転枕のバンドが腓骨小頭に当たらないようにし圧迫されている場合は看護師にお知らせください。

